

## とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1455
施設名	クローバーこども園
施設所在地	墨田区八広1-16-22
法人名	社会福祉法人 愛理会

### 1. 活動のテーマ

自然に触れ外遊びを通して楽しみながら体幹を鍛える。

#### <テーマの設定理由>

外遊びが減少している子供たちに自然に触れながら木登りや探索活動を通して身体を思い切り動かし体幹づくりを促す

### 2. 活動スケジュール

乳児 公園での かけっこ、木登り

幼児 土手や遠方の公園への散歩 土手での探索活動 公園での木登り、凧揚げ

### 4. 探究活動の実践

#### <活動の内容>

乳児 公園で大型遊具での遊びや木登りなどを体験する

幼児 長い歩行ができる距離の公園や土手まで散歩をする。関山講師のアドバイスにて自然の中での体づくりのプランを立てる。

#### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

0歳児 歩くことを楽しめる時期になり平坦でない公園を選びます。バランスをとりながらの早歩きや走りを往復して楽しんでいます。

1歳児 大きな木のある公園でバランス絵劣りながら順番に登っています。「みて」「のぼれたよ」とうれしそうです。

保育士の援助で達成感を味わっていました。

2歳児 丘のある公園で丘から走りながら下り下りすることを何度もやってだんだんとスピードをだしていました。

バランスが取れない子供は保育士が手をひろげながらおこなう姿勢を真似をして行っています。

アスレチックの頂上でしっかり身体を支えながら上り下りを楽しんでいます。

3歳児 公園の藤の木や桜の木が古木。大きい。子どもたちにとっては良い資源だと思います。

みぞれが降ってきたが寒いから外に出ないではなく、子どもたちも楽しそうでした。

階段が好きで昇り降り何度もしている中で頂上では「できた」と達成感を感じていた。

4歳児 荒川の土手に着くと、木登り・鬼ごっこ・探索などそれぞれ好きな遊びを見つけて楽しく過ごした。

5歳児 荒井土手に行って凧揚げしました。風の方向や高さを考えて走る方向を変えていました。



### 5. 振り返り

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

0歳児 外遊びは室内と違い風を感じたり平坦ではない地面でのバランスなど自然の環境に多く触れていきたいと常に感じています。

1歳児 公園での樹木に上ろうとしたりする意欲が自然にでて保育室ではみられない姿を発見することが多かったです。

2歳児 公園での遊びは身体を十分に自然に動かして達成感を味わっています。公園に行く日を多く計画したいと思っています。

3歳児 子どもたちが各々感じたことを楽しんでいる。保育士が用意するのではなく、場(環境)が保育を豊かにしてくれる。

4歳児 ジャンプして飛び降りる際の姿勢が分かりやすく経験できるだけでなく、数字への理解、判断力など様々な経験ができるように思う。

これまであまり活動に入れる機会が少なかったため、日常にどの様に取り入れていくか検討したいと思う。

5歳児 曲に合わせて踊るだけでなく、準備体操から徐々に色々な動きを取り入れ、段階を踏んでダイナミックになっていた。

くま歩きなど日々コンスタントに行い、あそびの中で腕の力をつけていく。

身体の使い方や動きのコツをその都度事前に繰り返し伝える。

基本的な動き・基礎がしっかり定着してから段数を上げる。